



多摩クリニック ニュースレター

第38号

2018 Jul./Aug.

まだまだ暑いです！ 脱水に注意しましょう。

脱水症とは ー予防のポイントー

1日に失われる水分量は約2500mlと言われています。汗や呼吸、排泄とともに排出された水分を補給しなければ脱水を起こします。特に高齢者は、脱水症状になりやすいので意識して水分を補給することが大切です。食事に含まれる水分以外では、1日に約1500ml以上を目安に水分補給を行いましょう。摂食嚥下障害があると特に水を飲むのがむづかしくなる傾向がありますので、さらに注意が必要です。水分にとろみをつけるなどで、安全に、十分な量を飲むようにしましょう。

水分補給のポイントは、食事1回にコップ1杯程度の飲料の摂取に加えて、寝る前、起床時、入浴前後など、こまめに補給するとよいでしょう。大量に汗をかいたり、発熱、嘔吐、下痢がおきた場合は、経口補水液などでナトリウムなどの電解質の補充も行う必要があります。

部屋の中でも要注意

夏の気温が高い状況では、特に熱中症を引き起こす可能性が高まりますが、高齢者は室内でも注意が必要です。高齢者では、自律神経の働きが悪くなり、体温調節が難しくなる場合があります。そのため、気温の変化を感じにくくなり、脱水症のリスクを高めます。夏にエアコンの設定温度が28度以上になっている場合は、暑さを我慢せず設定温度を下げましょう。服装や室内の環境に注意することが大切です。高齢者に対しては、体調の変化に気を配り、脱水症状を防ぐよう周囲のサポートが重要です。

脱水のサイン

- 食欲がない
- 口腔内や口唇の乾燥
- 痰が絡んだ咳がある
- 活動性の低下
- なんとなく元気がない
- わきの下などの皮膚が乾燥している
- 微熱がある
(普段の平熱と比較する)
- 手の甲の皮膚を持ちあげて放すと、しわがすぐに戻らない



脱水症が疑われたら、早めに病院を受診しましょう！

News! 国際学会で優秀賞を受賞！

7月27日から29日、イギリスのロンドンで開催されたIADR2018 第96回国際歯科研究学会議に参加し、研究発表、研修を行いました。その中で、五十嵐公美歯科医師が、“IADR Geriatric Oral Research Group Awards”の2nd prizeを受賞しました。

“Effects of dysphagia rehabilitation on functional status in elderly patients”.

高齢者における摂食嚥下リハビリテーションが生活機能に与える影響
 演者 五十嵐公美、矢島悠里、新藤広基、古屋裕康、佐川敬一郎、田村文誉、菊谷 武

内容
 高齢者における摂食嚥下リハビリテーションと生活機能との関連を明らかにすることを目的として、多摩クリニックを受診した122名の高齢者に1年間リハビリテーションを行い、摂食機能と生活機能の変化を追跡した。その結果、次の2点が明らかになった。①日常生活に対する意欲指標の得点が高い者ほど、摂食嚥下リハビリテーションの効果が得られていた。②摂食嚥下リハビリテーションの効果が得られた者は、一年後も意欲指標の得点が維持改善されていた。従って、摂食嚥下リハビリテーションの効果の予後予測因子は患者の意欲であり、同時に摂食嚥下リハビリテーションは、意欲を中心とした生活機能の維持向上に寄与する可能性が示された。



IADR Geriatric Oral Research Group Awards



We are therefore delighted to inform you the names of the winners and runners up in each of the prize categories as follows:

The J. Morita Post-doctoral Award

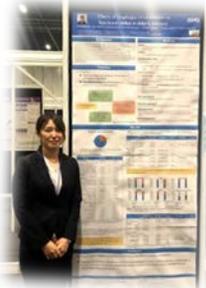
- 1st prize: Ding-Han Wang (National Yang-Ming University)
- 2nd prize: Martina Hayes (University College Cork)

The J. Morita Pre-doctoral Award

- 1st prize: Stefanie Krausch-Hofmann (KU Leuven)
- 2nd prize: Kumi Igarashi (Nippon Dental University)

The Jonathan Ship Award (for dental student candidates)

- 1st prize: Madeline Jun-Yu Yon (The University of Hong Kong).



主催研修会のお知らせ

摂食嚥下研修会 食べるを支える

平成30年度 第2回:

摂食嚥下機能の評価方法

平成30年9月27日(金) 19時

会場; 小金井宮地楽器ホール
 (小金井市民交流センター)

摂食嚥下研修会

発達期障害の理解を深める!

平成30年度 第2回:

言語発達と吃音

平成30年11月9日(金) 19時

会場; 多摩クリニック

Tokyo EAT 平成30年度

平成30年度 第2回:

平成30年10月1日(月)

会場; 小金井宮地楽器ホール
 (小金井市民交流センター)

第6回多摩小児在宅歯科医療連携

ネット 研修会のお知らせ

平成30年11月22日(木) 19時

会場; 都立多摩図書館

お申込は下記サイトからお願いします。

http://www.tamashoushika.com/05_workshop/index.html

詳細はしばらくお待ちください

詳しくは多摩クリニックホームページをご覧ください

<http://denthosp.ndu.ac.jp/nduhosp/tamaclinic/event/index.html>

日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック

- ・アクセス JR中央線 東小金井駅 南口 目の前
- ・連絡先 〒184-0011 東京都小金井市東町4-44-19
 TEL 042-316-6211 Fax 042-316-6212
- ・診療時間 午前9:30-12:00 午後13:00-17:00 (最終予約16:00)
- ・外来



※完全予約制

	月	火	水	木	金	土
摂食外来	○	○		○	○	○
言語外来	○	○	休	○	○	○
スペシャルニーズ歯科外来	○	○	診	○	○	○
口腔外科外来	○					

年末年始・創立記念日・祝祭日を除く

- ・訪問口腔リハビリテーション
 - ・訪問嚥下機能評価 (VEほか)
 - ・訪問栄養指導
 - ・CT撮影サービス
 - ・矯正歯科相談
- 随時ご相談ください。